

Bonjour à tous. 皆様こんにちは！

5月も下旬になりました。春の過ごしやすい気候も通り過ぎ、梅雨の季節がそろそろやってきそうです。

日々の寒暖差で体調を崩しませんように、皆さまお気をつけ下さいませ。

6月は DELF/DALF や仏検といった試験が実施されるので、合格を目指して学習を頑張ってらっしゃる生徒さんも多いでしょう。

学習していてわからなかった箇所の克服をしたい場合や口頭試験の練習に、オンラインプライベートレッスンをぜひ活用してみてください！

詳しくは、下記の案内をご参照ください。



■ 試験対策はオンラインプライベートレッスンがおすすめ！

オンラインプライベートレッスンは学期に関係なく、好きなタイミングでお申込みが可能です。

4月より、新しい教師が加わり、平日・土日ともにレッスン枠が増え、よりご利用いただけるようになりました！（レッスン枠の予約は先着順となります。）スケジュール表は[こちら](#)からご確認ください。

レッスンは1回25分(¥3500)、あるいは50分(¥6900)からお申込みが可能です。レッスンの予約は希望日時の2日前まで可能で、レッスン日の24時間前までならキャンセルができるので使いやすいシステムとなっております。ご自身で学習用プラットフォームから簡単に予約ができるので、ご予約を調整しながらご自身に合った学習ペースをしっかりとアレンジしていただけます。

レッスンの活用法として、試験本番前に口頭試験の練習をして、試験のコツを掴むことがおすすめです！または、問題集の解説を読んでもよくわからない箇所などを質問し、疑問を解消してみてください。その他ご相談がありましたら、お気軽に通信事務局までお問い合わせください！



★詳しくは、当館のHPをご覧ください↓★

<https://www.institutfrancais.jp/tokyo/adistance/private/>

★お申込みはオンラインティックから★

https://tokyo.extranet-aec.com/private_tuition#/

■ 通信事務局 6月4日(土) 臨時休業のお知らせ

DELF/DALF の試験のため、6月4日(土)は通信事務局は閉室となります。この間のお問い合わせは6月7日(火)より順次ご対応させていただきます。

■ 春学期の最終答案提出について

2022年春学期の最終答案提出締切日は6月7日(火)となります。最終提出日を過ぎてから到着した答案については添削ができません。もし提出が間に合わなかった場合は、模範解答をもとに課題を見直しましょう。

■ 課題提出の際のご注意

課題提出の際、答案用紙の表紙ページの左上に「住所ラベル」を必ず貼付してください。住所ラベルを貼り忘れると、どなたの答案かわからず添削答案が返却できなくなりますのでご注意ください。

La polémique est une passion française, et la langue n'y échappe pas. C'est d'ailleurs la saison de ces polémiques, avec la parution annuelle des dictionnaires usuels de référence, le *Petit Larousse illustré* et le *Petit Robert*. Chaque nouvelle édition est l'occasion d'ajouts d'entrées qui soulèvent des débats.

Ainsi, l'arrivée du pronom *iel* dans le *Petit Robert* a donné lieu à des échanges très vifs. Si ce mot ne vous dit rien, c'est normal : personnellement, je n'en avais jamais entendu parler avant et, pour tout dire, je ne l'ai jamais entendu utilisé dans une phrase... Mais quel est donc ce mot ?

Voici la définition donnée par le *Petit Robert* :

« *Pronom personnel sujet de la troisième personne du singulier (iel) et du pluriel (iels), employé pour évoquer une personne quel que soit son genre. (rare)* »

Ce mot, apparu au début des années 2010, a été adopté par des personnes se disant « non binaires » et qui ne se reconnaissent ni dans le genre masculin ni dans le genre féminin.

Cela pose une première question quant au rapport entre genre grammatical et genre de l'individu : l'un doit-il refléter l'autre ? Il y a des langues à deux genres (les langues romanes comme le français, l'italien ou l'espagnol), à trois genres (allemand, roumain, langues slaves), mais la majorité des langues du monde n'en ont aucun : on voit que les grammaires sont des systèmes arbitraires n'ayant pas pour but de refléter le réel.

Surtout, *iel* n'est pas un néologisme habituel : on crée naturellement des noms, des verbes, des adjectifs ou des adverbes, mais jamais des articles ou des pronoms ; le pronom français le plus récent, *quelqu'un*, date du 14^e siècle ! Si un tel changement des soubassements du français réussit, ce sera une sorte de révolution : voilà un phénomène passionnant à observer pour le linguiste !

論争はフランス人の情熱であり、言語も避けられません。加えて、普段使用されている辞書 *Petit Larousse illustré* と *Petit Robert* は毎年この時期に改訂されるので、今まさに論争の季節でもあります。最新版の辞書には、見出し語を追加する機会が、それは議論を引き起こします。

という事で、*Petit Robert* に代名詞 *iel* が追加されたことで、とても活発な討論が生じました。もし、この言葉について何も思い当たらないとしても当然です。私個人としては、*iel* を今まで聞いたことがなく、正直なところ、文章で使われていることを聞いたことがありません...。では、この言葉はどういう意味なのでしょう？

Petit Robert に記載されている定義によると、「三人称単数形(*iel*)と複数形(*iels*)の主語代名詞で、あらゆる性別の人を指すために使用されます。[稀]」

この言葉は、2010年代初頭に登場し、「ノンバイナリー」と言われる、男性、女性という性別のどちらにも当てはまらない人達によって可決されました。



un des symboles de non-binarité

このことは、まず文法的な性と個人的な性との関係についての問題を提起しました。どちらか一方の性が、他の性を反映するべきか？ 言語には、2つの性がある言語（フランス語、イタリア語、スペイン語などのロマンス諸語）と3つの性がある言語（ドイツ語、ルーマニア語、スラ

ヴ語派）がありますが、世界の過半数の言語には性別がありません。つまり、文法は、現実を反映することを目的としていない任意のシステムだということがわかります。

その上、*iel* は普通の新語ではありません。名詞、動詞、形容詞、副詞は、当然のこととして作られますが、冠詞や代名詞は作られません。最も新しく作られたフランス語の代名詞 *quelqu'un* は、14世紀にさかのぼります！もしこのようなフランス語の基礎を変えることに成功すれば、それは一種の革命となるでしょう。ここに、言語学者を夢中にさせる現象があるのです！